

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月25日				
帯広市幼児ことばの教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・指導室が3部屋あります。 ・一部屋において担当者とお子さんマンツーマンの活動になりますので、広さも十分保証されています。	・引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・国の人員配置基準を守り加算要件を満たす職員の配置を行っています。今年度は、基準の人員に加え臨時職員も入職し、職員が休んだ場合の対応ができるように整えました。	・今後も左記を継続します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・事業所内はバリアフリー化されています。 ・マンツーマンの指導において、机上での取り組みや床に座っての取り組みなど、活動内容によって適宜配慮しています。	・今後も左記を継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・職員が増えた分、昨年度より行き届いた清掃をすることができています。 ・感染予防の消毒の他、季節によって加湿器や空気清浄機を使用しています。	・今後も左記を継続します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個別指導が主体ですので、毎回の指導において、お子さんは個別の部屋を使用できています。	・今後も左記を継続します。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・きちんとした会議の場以外においても、職員間で話し合う場面が増えており、PDCAサイクルの意識をもっています。	・今後も左記を継続します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者からの評価を真摯に受け止め、指摘があった件については速やかに対応していきます。	・「わからない」という回答があるので、わかりやすい情報の発信を心がけます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・会議の場やそれ以外の場面においても、意見を出し合うことができています。また、年に1回面談も設定されており、個別的に考えを伝える機会もあります。	・今後も左記を継続します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・当法人の監査・理事会・評議委員会の中で「事業報告」を行い、指摘内容についてはすぐに対応するようにしています。	・今後も左記を継続します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修に参加の機会を設けています。 ・また、個別支援会議において指導の見直しを行う事が、事例検討の役割を果たしています。	・計画的に研修に参加できるよう、研修計画を見直し、職員の資質の向上に努めていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムは作成済みです。 ・令和6年度中にHPに公表予定です。	・保護者のみなさんへの周知を努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に捉えた上で、お子さんの様子と合わせて、必要な指導を考え計画書を作成しています。	・今後も左記を継続します。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児発管と担当職員だけでなく、教室の職員全員で会議をもち、共通理解を深めている。	・今後も左記を継続します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画書は全職員で共有している。	・今後も左記を継続します。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・言語面に特化した検査を用いたり、行動観察や実際のやりとりの中から、お子さんの状況を押さえています。	・今後も左記を継続します。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った内容を踏まえて、必要な項目を設定し、支援内容も設定しています。	・今後も左記を継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	—	—	・個別指導のため、当日の活動プログラムをチームで立案することはありませんが、指導員同士で話をしながら、自分の指導・支援に生かしています。	・今後も左記を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・お子さんのタイプに合わせ、好みの遊びや興味のあるものを取り入れ、指導や遊びに反映させ、飽きないような工夫を行っています。	・今後も左記を継続します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・当事業所は、個別指導のみのため、お子さんが所属している認定こども園・幼稚園・保育所から集団での様子をお聞きし、個別支援計画を立てています。	・今後も左記を継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	—	—	・個別指導のため、指導に関しての細かな打ち合わせは行っていません。 ・支援が始まる前には、前回の記録を見返し、今日行う指導・支援内容を確認してから開始しています。	・今後も左記を継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	—	—	・個別指導のため、職員間での指導の振り返りはしませんが、一人の指導員の話題提供に対し、みんなが意見を出し合うような場面はよくあります。	・今後も左記を継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・毎回記録を書くことを徹底しています。支援の検証や改善につなげています。	・今後も左記を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・6カ月に1回の割合で、見直しを行っています。	・今後も左記を継続します。
関係機関や保護者	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	—	—	・セルフプランのため、相談支援事業所とのかわりはありません。	・相談支援事業所を利用しているお子さんが契約となった際には、連携を取っていきたくと考えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・当事業所は保健福祉センター内にあるため、子育て支援課や健康推進課とは、必要な連絡は常にとることができます。	・今後も左記を継続します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・在籍している認定こども園・幼稚園・保育所と情報交換させもらい、お子さんの理解を深めています。	・今後も左記を継続します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・小学校の言語通級指導教室とは必ず引継を行っています。それ以外の学級についても、必要に応じ対応しています。	・今後も左記を継続します。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5	・児童発達支援センターではないが、子ども発達相談室で受けた発達検査の結果について、保護者の同意のもと共有しています。	・今後も必要に応じ、助言をいただいています。

との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	—	—	・当事業所を利用しているお子さん全員が、認定こども園、幼稚園、保育所を活用しており、そこで障害の有る子無いう子にかかわらず、普通に活動を行っています。従って事業所として意図的にそういった活動を設ける必要はないと考えます。	・今後も左記を継続します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎回の指導後に保護者の方と話をする時間を設けてあるので、その日の指導・支援の状況や家庭での様子などをお聞きし、話し合いながら、共通認識を持つようにしています。	・今後も左記を継続します。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・ペアレント・トレーニングと称して、支援を行なってはいません。 ・ただ毎回行われる指導については、保護者は観察室からその様子を見ているので、客観的に、指導員のかかわり方を見ながら、保護者自身のかかわりを重ね合わせ、振り返ることができます。保護者と家庭でのかかわりについて話し合うこともしています。	・今後も左記を継続します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に、重要事項説明書の説明を行い、保護者からの質問には丁寧に答えています。	・今後も左記を継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた上で設定した目標に対し、方針や指導内容や優先順位を考え、作成しています。	・今後も左記を継続します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・計画書を説明するために、きちんと保護者と面談する時間を設けています。説明後には同意の署名をいただいています。	・今後も左記を継続します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・毎回の指導後に、保護者と話す時間を設けており、そこで相談に応じています。また別途時間を設けての相談にも応じています。	・今後も左記を継続します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	・事業所独自の父母会はないことから、父母会の入会を申し出られた場合は、「帯広地区ことばを育てる親の会」の入会について案内を行っています。	・保護者から当事業所独自の父母の会の要望があった場合は、検討させていただきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談や申し入れがあった場合、迅速に対応するよう努めています。 ・事業所以外の相談先や苦情受付については重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	・今後も左記を継続します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・隔月で教室だよりを発行し、行事予定や学習資料、指導のひとこまなどを掲載し、保護者や認定こども園・幼稚園・保育所など関係機関に配付しています。	・SNSを活用していく予定は今のところないですが、帯広市社会福祉協議会のホームページ内の当教室の部分を、わかりやすくしていく予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報については、適切に管理しています。規定により5年間保存しなければならないものは、期間終了に合わせ処分します。 ・所属訪問や書類提出、引継ぎに関しても「個人情報同意書」をいただいております。その範囲以内で行っています。またその際、再度口頭での同意も受けて行っています。	・今後も左記を継続します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・お子さんや保護者の方に伝わりやすいように、丁寧に伝えるように心掛けています。	・今後も左記を継続します。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・地域住民に、事業所を知ってもらうための行事を企画をすれば、できるかもしれませんが、子どもの指導・支援を無くして行事を開催することは難しく、従って、地域住民に対して、開かれた事業運営を図ることはできていないと思います。	・児童発達支援事業所は、運営上、サービス提供日に行事を開催することは難しい仕組みになっており、特に個別指導を行っている事業所としては、行事自体を企画することは、なかなかできないと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・待合室に「緊急対応マニュアル」を綴ったファイルを置いて、閲覧できるようにしてあります。 ・契約時に、非常災害に関わる避難について大枠の説明は行っており、契約時に避難経路を実際に歩いての確認をしています。	・もう少しわかりやすく、各種マニュアルをどなたでも手に取りやすく、気軽に閲覧できるようにいたします。 ・当事業所は個別指導であり、決められた時間に通所し、終了すると帰宅し、次の子どもが通所して来るような形態のため、保健福祉センターで行われる避難訓練には、保護者や子どもの参加は難しいため、契約時に、保護者とお子さんを連れて、避難経路に沿い非常口まで誘導し、避難口の確認をしてもらうようにしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定し、これに沿った研修や訓練を行っています。職員が参加しています。 ・避難経路図を作成し、目で見え確認がしやすいように掲示してあります。	・今後も左記を継続します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・来所相談、事前アンケート、ことばの検査の面接などの中で、お子さんの状況について確認をさせていただいています。 ・指導後の保護者との話し合いの時に、詳細はお聞きしています。	・今後も左記を継続します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—	・当教室では、食事の提供を行っていません。	・アレルギーの情報については、食物の提供の有無かかわらず確認はとっておきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、必要な研修を行っています。	・安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画に基づく内容を周知しています。	・安全計画に基づいて行われているという事の周知が不足しているので、わかりやすく周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・些細であっても危険なことが起こった時には報告を受け、職員間で共有しています。	・今後も注意を怠ることなく指導・支援に当たらなければならないと思っています。 ・事例があった場合は、事例集に載せ共有し、自分たちの行動を振り返るようにしていかなければならないと思っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待に関する研修を受けています。	・事例が発生した場合、当法人の虐待防止委員会にかけ適切な対応を行っていきたいと思います。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・身体拘束を行う事例はありません。	・事例が発生した場合、身体拘束適正化検討委員会において、必要な対応を取っていきたいと思います。